

農福連携推進セミナー

～農福連携で、みんなに笑顔を～

農福連携とは、障害者の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参加を促す取り組みであり、「農業における労働力の確保」及び「障害者の就労先確保」の課題解決とメリットがある取り組みです。

本セミナーでは、全国及び県内での様々な農福連携の取り組みを紹介します。

障害者は農業に向いているの？ どうすれば、農業者と障害者が連携してWIN-WINの関係が築けるの？などの疑問に、講演や意見交換を通じてみなさんに農福連携へのヒントを提供します。

2019年 **8月29日(木)** 14:00-16:30

場所：兵庫県農業会館10階 101号室
神戸市中央区海岸通1番地

対象：障害福祉サービス事業者、県内農業者、
県内農業協同組合、市町福祉・農政主務課等

定員
90名

プログラム

14:00 開会（受付開始：13:30～）

14:00～14:10

導入説明「県の農福連携の推進に向けた取り組み」

（兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課）

第一部

14:10～15:20

講演「持続可能な農福連携の展開」

講師 林 正剛氏（（特非）HUB's 理事長）

【講師紹介】

2014年に農水省・厚生労働省へ農福連携事業を提案し、農林水産省の『「農」のある暮らしづくりアドバイザー』として活動を開始。以降、全国各地で農福連携推進のイベント企画や研修講師、農福連携をベースとした地域づくりなどをプロデュース。

（担当事業）

- 被災障害者就労支援施設復興支援事業（厚生労働省、福島県等委託事業）
- 農と福祉の連携プロジェクト事業（農林水産省事業）



15:20～15:50

事例発表「県内における農福連携の実践事例」

（発表者①）加邊 達士氏

（農でデザインする福祉のまちづくりネットワーク）
（（特非）きたベジファーム理事：神戸市北区）

（発表者②）竹本 武志氏

（（特非）スポーツアカデミー Shine 理事長：西脇市）

第二部

16:00～16:30

意見交換「農福連携の今後の展開」

パネラー（事例発表者、農協関係者、行政など）と参加者による意見交換会

16:30 閉会

主催：兵庫県、（特非）兵庫セルフセンター

■参加方法

下記参加申込用紙により、8/23（金）までに事前申込が必要です。（参加費：無料）
FAX、メール、郵送等で、(特非)兵庫セルフセンターへお申し込み下さい。

(特非) 兵庫セルフセンター（脇原、村上、堂前）

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1

(電話) 078-414-7311 / (FAX) 078-414-7312

(メールアドレス) contact@hyogo-selp.jp

■問い合わせ先

兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課（能地、阪田）

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1

(電話) 078-362-3261 / (FAX) 078-362-9040

(メールアドレス) universal@pref.hyogo.lg.jp

(切り取り線)

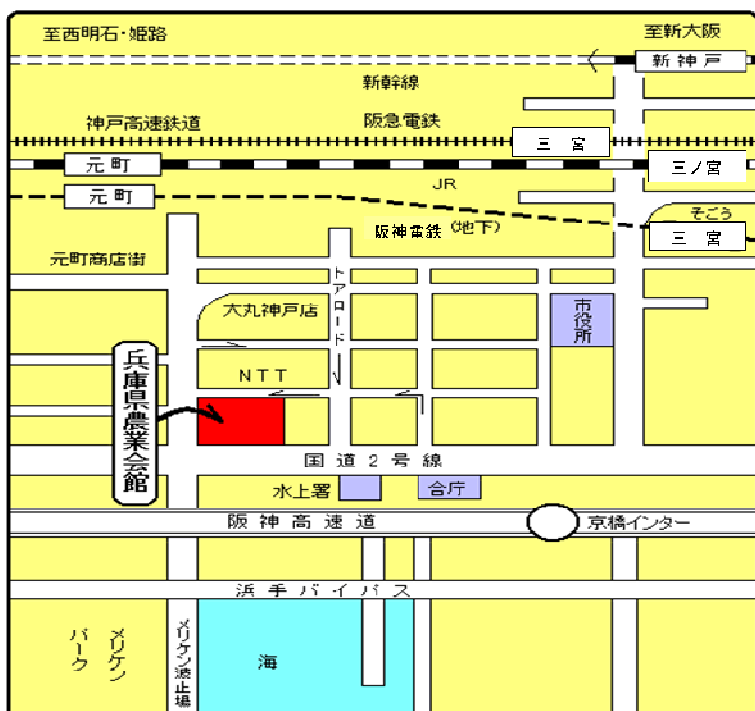
農福連携推進セミナー（8/29（木））参加申込用紙

会社名・団体名	(ふりがな)		
所在地	〒		
所属・役職	TEL () -		
	氏名		
	(ふりがな)		
	(ふりがな)		

(注) ご記入頂いた個人情報は、参加者数の把握及び緊急連絡の対応に使用させていただき、それ以外の目的では使用いたしません。

(会場案内図)

兵庫県農業会館10階 101号室
(〒650-0024 神戸市中央区海岸通1番地)



- ◆ JR・阪神「元町」駅
東口下車、南へ徒歩約5分
- ◆ 市営地下鉄海岸線「旧居留地・大丸前」駅下車、南へ徒歩約3分
- ◆ 阪急「三宮」駅西口下車、西南へ徒歩約15分